

ほけんだより 1月

令和8年1月9日
板橋区立前野小学校
校長 松原 貴志
養護 林 美紀

前野小学校の様子

- ◆ 11月よりは落ち着いてきましたが、12月もインフルエンザでのお休みが目立ちました。全国的にインフルエンザが猛威を振るっており、板橋区にもその波が到来しています。喉の痛みやだるさがみられるときは無理に登校せず、家で様子をみるようになります。
- ◆ 12月は腹痛や嘔吐での欠席や保健室利用が比較的多かったです。しっかり石けんを使って手洗いし、感染を防ぎましょう。
- ◆ 溶連菌感染症やマイコプラズマ感染症にかかる子もみられました。
- ◆ 12月は今年度で最も怪我が多い月でした。まわりをよく見て、落ち着いて過ごしましょう。学校としても、安全点検を行う、授業のやり方を工夫するなど、怪我の予防に努めて参ります。

学級閉鎖の目安

「欠席者が何人になったら学級閉鎖になるのですか？」。子どもたちからよく聞かれる質問です。学校保健安全法に「学校の設置者は感染症の予防上必要があるときは、臨時に学校の全部又は一部の休業を行うことができる。」と定めていますが、具体的な人数などは書かれていません。そのため、「『〇人以上なら』という基準はない」というのが答えです。

滅多に見られない感染症の場合や、地域で流行が始まったばかりの時期などは、慎重に判断します。また、空気感染(飛沫核)感染する結核や麻しん等の発生時は、発症者が一人だけでも臨時休業の措置をとることがあります。

急に学級閉鎖になって、ご家庭で困ることがあると思います。しかし、閉鎖せず、次々に沢山の子が感染していくことは避けなければなりません。その学級のお子さんだけでなく、家庭にも感染症を持ち込んでしまう結果になることもあります。3学期は感染症の流行しやすい時期です。ご家庭のご理解、ご協力をお願いいたします。

マスクについて

インフルエンザをはじめとする感染症の予防には、「手洗い」、「マスクの着用を含む咳エチケット」など有効です。マスクの着用は個人の判断に委ねられるものですが、咳や痰などの症状がある場合は、「マスクの着用を含む咳エチケット」を心がけることが重要です。

特に、子どものマスクの着用については、すこやかな発育・発達の妨げとならないよう配慮することが重要です。教室は人との距離が近く、また、子ども同士、体を寄せ合って遊ぶ姿がみられるのが学校の現状です。お子さんの体調にあわせて、マスクのご判断をお願いいたします。

なお、給食当番はマスクをしますし、急にマスクの着用が必要なこともあるかもしれません。ランドセルにマスクを入れておいていただくと有り難いです。

児童一人ひとりが、こまめな手洗いをすることができるよう、ご家庭でも声掛けをよろしくお願いいいたします。

麻しん及び風疹の定期接種について

<麻しん風疹混合(MR)ワクチン>

第1期：1歳時に定期接種

第2期：小学校入学前1年間(6歳になる年度：年長組)に定期接種

ワクチン接種は、本人や保護者の判断が尊重されるべきものですが、その判断にあたっては、接種に関する情報について周知されることが重要ですので、情報提供いたします。

板橋区では、未接種者に対する助成を行っており、廉価で接種できます。板橋区保健所のHPもご参考にしてください。

【任意】麻しん風しん混合(MR)ワクチンを受けられなかったお子さまへ

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kenko/kenshin/yobou/1049862/1002618.html>